

令和7年11月15日（土）、長崎市内において、「令和7年度ながさき農林業大賞」の表彰式が行われました。この賞は、県内各地で地域の特性を活かしながら魅力ある農林業経営を展開している優れた農林業者を表彰するもので、県央振興局管内からは、5経営体1組織が受賞されました。

受賞された皆様おめでとうございます。
今後ますますのご活躍を祈念いたします。

農林水産大臣賞及び長崎県知事賞



ゆうげんがいしゃ

あさくら かえん

有限会社 朝倉花園(諫早市)

あさくらようへい

ひろみ

朝倉陽平さん・裕美さん

【経営概況】

カーネーション	53a
ガーベラ	50a
草花	9a



朝倉陽平さん・裕美さん

【主な受賞理由】

- 将来的な安定雇用・周年出荷を見据え、主たる経営品目のカーネーションに加え、ガーベラにも力を入れている。全国でも先駆けて LED による光防除技術や長崎型低コスト統合環境制御装置、炭酸ガス施用等の最先端技術の導入により、環境に優しく、高品質な切り花の生産を実現し、市場から高評価を獲得するなど、持続可能な農業経営のモデルとして地域の模範となっている。
- 取引市場への PR 活動によって価格の安定を図るとともに、本人自ら地元花屋や小学校等と連携した花育活動のほか、フラワーアレンジメント教室を開催するなど消費拡大に向けた取組を実践している。
- JAながさき県央諫早カーネーション部会長等生産組織のリーダーとして、産地ブランドの発展に寄与するとともに、中山間等直接支払制度を活用した地域の草刈り作業や土地改良区理事として遊休農地の仲介に従事するなど地域農業にも大きく貢献している。

長崎県知事賞

えいだ たかし

ま ち こ

栄田孝さん・真知子さん(諫早市)

【経営概況】

春作ばれいしょ	300a	にんじん	200a
秋作ばれいしょ	100a	水稲	45a



栄田孝さん・真知子さん

【主な受賞理由】

- 基盤整備事業の活用や県内農機具メーカーとの省力化農機具共同開発（平成27年長崎県発明くふう展において長崎県知事賞を受賞）、乗用型収穫機やドローン防除機等の導入による省力化、効率化を実現するとともに、外国人材の常時雇用にも積極的に取り組むなど地域を代表する生産者である。
- 病害虫抵抗性品種の活用や緑肥作付、堆肥施用などによる土づくりを積極的に実施している。また、早期肥大性のばれいしょ品種「アイマサリ」の先進的導入や関係機関と連携した肥料試験、品種導入検討も率先して取り組んでいる。
- 高品質・高収量による安定出荷の実現により、長崎一の産地として市場から認知されている飯盛産「メークイン」の付加価値の向上に努めるほか、飯盛土地改良区理事長を務め、長年、基盤整備事業の推進にも尽力しており、地域農業発展に貢献している。

たがわ まさみち のりこ たいし
田川正道さん・則子さん・大志さん(大村市)

【経営概況】

温州みかん 213a 施設中晩柑 20a
露地中晩柑 12a 水稻 100a



田川正道さん
則子さん
大志さん

【主な受賞理由】

- 園地を自宅周辺に集約し、園内道整備によるスピードプレーヤー防除等で作業の省力化・効率化を実現している。生産性が高い樹齢20年生以下が4割以上占めるよう、また高単価で販売される年末～年明け販売比率を高めるよう計画的に改植することで所得の安定を図っている。
- 細やかな栽培管理を実践し、令和5年産の単収は2,591kg/10a(県平均1,810kg/10a)、ブランド率は58.9%(県平均54%)と高く、JANAがさき県央ブランド「はなまる物語」、「味ホープ」として販売するなど産地をけん引している。
- 萱瀬・野田地区の基盤整備推進委員会会長として、県央地区での果樹基盤整備の実現に向けて尽力するとともに、これまでJANAがさき県央施設中晩柑研究会会長、みかん部会郡支部長等を務めるなど地域農業および本県果樹産地振興に貢献している。

運営委員会長賞

かぶしきがいしゃ うえの ようとん
株式会社 上野養豚(大村市)

うえの かつき じゅんこ
上野活樹さん・淳子さん

【経営概況】

母豚140頭(一貫経営)



上野活樹代表取締役とご家族

【主な受賞理由】

- エコフィードや飼料用米を利用した自家配合飼料の生産や豚ふん尿から生産された良質堆肥を地域内に供給し、環境に調和した養豚経営に取り組んでいる。
- 生産された豚肉を「山のウエノ豚」として自社ホームページでオンライン販売するほか、地元産食材とのコラボ商品開発や地域飲食店との連携など、新しい養豚業の形を展開している。
- 「まるごとん」の商品名で1頭をまるごと販売し、部位ごとの特徴や調理レシピを公開することで、消費拡大のみならず食育やフードロス削減意識の向上を図っている。
- 大村市認定農業者協議会、県養豚協会などの農業者組織の要職を務め、次世代を担う若手後継者の育成・指導に尽力している。

じょうじま きいちろう

はつこ

上島喜一郎さん・初子さん(諫早市)

【経営概要】

水 稲	1 2.5 ha
麦 類(全作業受託)	1 9 ha
大 豆(共同作業)	
水 稲(耕起・代掻き受託)	6 ha



上島喜一郎さん・初子さん

【主な受賞理由】

- 諫早市平坦地水田地帯で水稻栽培のほか麦類や大豆、水稻作業の受託を行っている。
- 水稻移植栽培の大半で育苗箱全量施肥に取り組み、労力分散による規模拡大を実現しているほか、地域に先駆け、乾田直播栽培へ取り組み、省力化・低コスト栽培を実践している。
水稻では品質向上を図るため、高温に強い「にこまる」を中心に作付けするほか、業務用米「恋初めし」の試験栽培に取り組み、現在、契約栽培を実施している。
- 担い手不足が進む中、リタイアする農業者の農地を積極的に借り受け、規模拡大しながら地域の農地保全に貢献するとともに、地域集落営農組合の立ち上げ、法人化においては、集落の合意形成から尽力し、現在は農事組合法人の理事として地域の農業の維持発展に貢献している。

ながさき せいひ のうぎようきょうどうくみあい

長崎西彼農業協同組合

だいさいかい

ぶかい

大西海びわ部会(西海市)



【経営概要】

品 目	びわ
構成員数	26人(うち認定農業者7人)
産地規模	6.77ha



大西海びわ部会の皆さん

【主な受賞理由】

- 部会員数 26 人、1 人あたりの平均作付規模は約 26 a で、「長崎早生」を主体に他品種との組み合わせや施設栽培の導入により労力分散を図っている。また、設立から 40 年以上続く生産組織であり、設立当初より共同選果体制を継続している。
- 共同選果により、統一された品質基準に基づくびわの出荷を実現することで、市場関係者や消費者から高い信頼を獲得している。
- 栽培においては、低樹高化により摘果・袋掛け・収穫などの作業負担を軽減し、綿密な誘引作業で安定した収量を確保しており、単収、販売量・額、単価全てにおいて5年前より増加している。
- 新規就農者に対しては、規模縮小する農家の既存園地を斡旋することで、未収益期間を発生させず、スムーズな就農につなげている。さらに、地域外からの新規参加者には住居の確保支援も行うなど支援体制を築いている。

長崎・西彼地域農業振興協議会長賞

【畜産部門】

株式会社小西畜産(西海市)



県央地域農業振興協議会長賞

【産地集団部門】

長崎西彼農業協同組合伊木力切り枝花木研究会(諫早市)

【施設野菜部門】

ファーマライズ株式会社(東彼杵町)

【特産部門】

中山公輔(東彼杵町)